

「もしも・・・」の時のヘルメット。



交通安全啓発キャラクター「できるニャン」

予期せぬ事故や激しい転倒によってライダーの頭部に加わる大きな衝撃を吸収し保護するためにも、バイクの排気量を問わず、安全性の高いヘルメットで正しい着用をしてほしいニャン。

■ 安全性の高いヘルメットとは何か？

バイクのヘルメットの「安全性」の指標として、いくつかの安全規格が有ります。

名称	説明	マーク
PSCマーク	日本国内で販売されている「乗車用ヘルメット」は必ずこの表示があり、消費生活用製品安全法が定める技術基準に適合していることを示します。この表示がないと「乗車用ヘルメット」として販売・陳列は認められません。	
SG規格	製品安全協会の審査により基準に適合しているものと認めた製品に表示されるものです。 ※規格内容自体はPSCと同等	
JISマーク	日本工業規格(JIS)の安全基準をクリアした製品に貼られるマークです。 「PSC」「SG」と比べて遥かに厳しい安全基準となっております。	
MFJ公認（規格）	JIS認定を受けた上で、MFJ（財団法人日本モーターサイクル協会）が定めた安全基準をクリアしたヘルメットの規格です。	

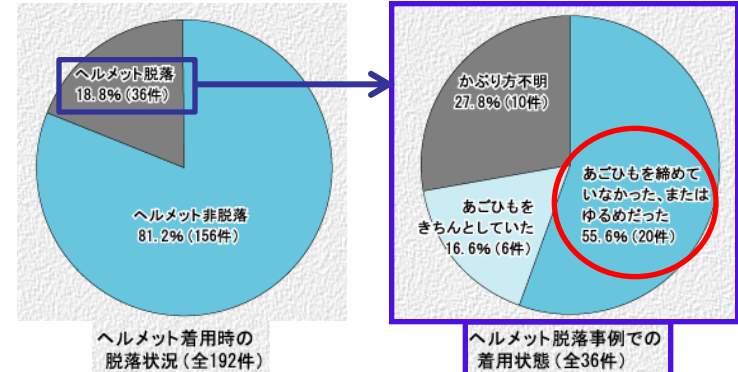
値段の高い高機能ヘルメットのほとんどは、厳しい安全規格をクリアし、「安全性の高いヘルメット」となっております。

■ ヘルメットの正しい着用の重要性

二輪車乗用中の負傷事故において、18.8%がヘルメット脱落、またその内の50%以上が、「あごひもをきちんと締めていなかった」ことによる負傷でした。ヘルメットの正しい着用が、いかに重要なかがわかります。

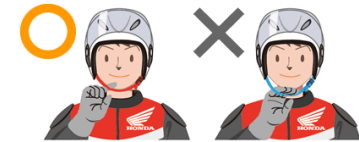
・二輪車乗用中の負傷事故におけるヘルメットの着用状況

参考：(財)交通事故総合分析センター



・正しいあごひもの締め方

ヘルメットのあごひもは、あごの下に指が1本入るくらいが適切です。



参考：HM安全普及本部

いくら値段が高く、高機能のヘルメットでも正しく着用せず、事故の際に脱げてしまっは意味がありません。